

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文獻	症例	適正 使用 措置	感染症(P) ザ	出典	概要
												鳥インフルエンザ	Ann N Y Acad Sci 2006; 1081: 171-173	タイ南部で自然感染した日本ウズラの卵白と原液混合液を含む卵の内容物と、卵管からトリインフルエンザウイルスを回収された。発育鶏卵の絨毛尿膜囊接種によりウイルスを分離し、PCRによりH5N1亜型インフルエンザウイルスと確定した。またウイルス抗原は複数の組織の實質で検出された。ウイルス抗原が全身に存在したことからウイルス血症の段階であると考えられた。アウトブレイク地域からの卵の移動や卵の消費によるウイルス汚染や拡大に対し安全対策をとる必要がある。
331	2007/07/26	70331	ゼリア新薬工業	結核菌熱水抽出物	結核菌熱水抽出物	Z-100原液	日本	有効成分	無	無	無			
332	2007/07/26	70332	グラクソ・スミスクライン	A型ボツリヌス毒素	ヒツジ(血液)	ヒツジ(血液)	米国、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
333	2007/07/26	70333	グラクソ・スミスクライン	A型ボツリヌス毒素	A型ボツリヌス毒素	A型ボツリヌス菌 (Clostridium botulinum)	米国	有効成分	無	無	無			
334	2007/07/26	70334	グラクソ・スミスクライン	A型ボツリヌス毒素	人血清アルブミン	人血液	米国	添加物	無	無	無			
335	2007/07/26	70335	グラクソ・スミスクライン	A型ボツリヌス毒素	ウシ(心臓、血液、乳、骨格筋、降膜)	ウシ(心臓、血液、乳、骨格筋、降膜)	米国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、アルゼンチン、ブラジル、ウルグアイ	製造工程	無	無	無			
336	2007/07/26	70336	CSLベリンガ	ペプシン処理人免疫グロブリンG	ペプシン処理人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国、ドイツ、オーストラリア	有効成分	有	有	無	ウイルス感染	Transfusion 2007; 47: 162-170	輸血により、サルfoamyウイルス(SFV)感染が起こるかをアガゲサルを用いて調べた。感染サルの血液を非感染サルに輸血したところ、輸血されたサルの血液から8週後にプロウイルスDNAが検出され、その1週間後にセロコンバージョンが起こった。血しように中に検出限界下限のSFVが検出された。また感染29週目に唾液中にSFVが検出された。輸血によりSFVが感染することが初めて示された。
337	2007/07/26	70337	CSLベリンガ	ペプシン処理人免疫グロブリンG	ペプシン	ブタの胃	米国	製造工程	無	無	無			